

**第2回広島県小児救急医療電話相談
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年8月26日13時30分から15時35分まで
2	場 所	本館5階 503会議室
3	出席委員	医療介護政策課長、健康危機管理課長 子供未来応援課長、危機管理監 消防保安課長
4	議 題	プレゼンテーション及び最優秀提案者について
5	担当部署	医療介護政策課 医療政策グループ
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	1 審査方法 事前に提出された提案書を基にプレゼンテーションを実施し、選定委員会で審査の上、最も高い評価点を得た提案者を最優秀提案者として選定した。 2 審査結果 (1) 審査対象者（公募型プロポーザル参加資格確認申請書の提出順） B社：ダイヤル・サービス株式会社 C社：株式会社CTI情報センター D社：株式会社メディカル・コンシェルジュ ※A社辞退 (2) 最優秀提案者 審査の結果、D社が最優秀提案者として選定された。 (3) 各委員の評価・選定理由（審査対象者ごと） 【B社】 ・回線数の拡大や相談内容の要約作成など独自提案は評価できるが、応答率及びトリアージの目標について提案内容の実現に不安を感じた。 ・事業実施に十分な水準の提案であると考える。 ・広島県の実情や過去の同種業務の実績も踏まえた上で、具体的な数値目標が提示されているが、高い応答率を確保しつつ救急受診勧奨を20%に抑えるための取組について、実現可能性に少し疑問が残った。

		・過去の実績で８０％超の応答率があったことや、オンライン診療の提供など独自の提案もあり評価できる。 【Ｃ社】 ・回線数について魅力的な提案となっているが、本県独自の電話の受信方式により提案の実現は難しいと思われる。 ・業務実施は可能と考えられるが、人員の人数、経験ともに若干不十分ではないかと考える。 ・応答率を確保するための取組については具体性があったが、相談体制について、相談の質向上のための研修や事後検証等の取組について、もう少し具体性のある提案がほしかった。 ・独自のクラウド利用で回線の考え方は先進的であるが、それに見合う人員の体制が具体的な提案となっていないようにみうけられる。 【Ｄ社】 ・多くの他県実績を抱え、本県の医療体制の特性理解の重要性を強く認識されており、適切な相談対応が期待できる。 ・事業実施に十分な水準の提案であると考ええる。 ・これまでの実績をもとに、応答率の向上や、相談の質向上ための取組が具体的に提案されており、質の高い業務の遂行が期待できる提案内容であった。 ・現在の受託での経験を生かして様々な工夫が感じられ、仕様書にない部分も積極的である。
--	--	---